

媒体名	日本流通産業新聞	掲載日	2014年3月27日号
タイトル	エビデンスのある素材 特集		

ニュートリション・アクト  
「AC-11」

DNA修復促進作用を確認

健康食品・化粧品のみならず、EM製造などを行うニュートリション・アクト（本社東京都、石川雅仁CEO、☎03-5475-7313）が提案する植物由来の化粧品・健康食品素材「AC-11」は、DNA修復促進作用を持つことが確認されている。一足先に構造・機能強調表示が認められている米国では、「DNA修復」をうたった、AC-11配合のサプリがすでに市場で販売されている。機能性表示の新制度発足後は、同様の表示が国内でも可能になることに期待が持てる。

DNAは紫外線や活性酸素により1日最大50万回の損傷を受けており、損傷の蓄積が老化や疾病の原因になる。加齢とともに衰える、DNAの修復機能をサポートするのが「AC-11」だ。DNA修復の促進により、美容分野では、シミ、シワ、たるみ、くすみ、炎症、光老化、キメなどの改善につながることを期待される。

経口摂取を想定したE X I V O試験では、柔軟で弾力のあるⅢ型コラーゲンの量が10日間で約4・7倍に増加することも確かめている。AC-11の摂取により、免疫抵抗力を司る血中の白血球（リンパ球、NK細胞）数が増加することも確認。肺炎球菌ワクチンの接種者を対象にした試験では、AC-11のタブレットの摂取者は、ワクチン接種60日後から180日後にかけて、肺炎球菌に対する免疫抵抗力を示す「肺炎球菌抗体力価」が、ほとんど低下しないことが分かった。ワクチンの効力を延長する作用が確認された格好だ。

化粧品として塗布した際の有効性も確認。内外美容素材としても、注目度が高まっている。3次元皮膚モデルに紫外線を照射した試験では、AC-11添加群で、照射24時間後の皮膚組織中の損傷DNAの修復効果が確認された。サンバイン細胞（紫外線による細胞壊死）数も約95%抑制できた。紫外線照射後の日焼け肌におけるAC-11の美白効果を調べた試験では、代表的な美白成分コウジ酸を上回る美白効果が明らかになった。

42人を対象にした塗布試験では、AC-11配合のサンスクリーン剤の、日光による肌トラブルに対する改善効果を評価。紅斑・水ぶくれのいずれについても、非配合のサンスクリーン剤と比べ有意に発生率が減少した。同社は、海外で機能表示の実績があるエビデンスベースの素材として、AC-11のほか、メロン、グリソフィンやリカメンを取扱っている。

のサンスクリーン剤の、日光による肌トラブルに対する改善効果を評価。紅斑・水ぶくれのいずれについても、非配合のサンスクリーン剤と比べ有意に発生率が減少した。同社は、海外で機能表示の実績があるエビデンスベースの素材として、AC-11のほか、メロン、グリソフィンやリカメンを取扱っている。